公益財団法人日本アレルギー協会
平成 25 年度事業概要報告書

（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

本　　部　　（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
Ⅰ．研究助成事業	
1．自由課題研究助成	
(1)「小児ウイルス感染喘鳴の早期予防・治療に関する臨床研究」	加藤政彦（群馬県立小児医療センター） 研究期間：平成 25 年 5 月～26 年 4 月
(2)「咳喘息患者における IL-13 遺伝子多型と肺機能との関連」	山内広平（岩手医科大学） 研究期間：平成 25 年 5 月～26 年 3 月
(3)「スギ花粉症患者を対象とした OHIO Chamber におけるベポタスチンベシル酸塩 OD 錠とフェキソフェナジン塩酸塩 / 塩酸プソイドエフェドリン配合錠の症状発現抑制作用比較検討試験」	大久保公裕（左門町クリニック） 研究期間：平成 25 年 5 月～25 年 12 月
(4)「高齢者気管支喘息患者に対する吸入ステロイド / 長時間作用型β_2刺激薬合剤とプランルカスト水和物の併用療法に関する検討」	玉置　淳（東京女子医科大学） 研究期間：平成 25 年 8 月～26 年 3 月
(5)「アレルギー性鼻炎合併気管支喘息患児の鼻症状及び運動量にβ_2刺激薬合剤とプランルカスト水和物の併用療法に関する検討」	藤澤隆夫（国立病院機構三重病院） 研究期間：平成 25 年 7 月～25 年 12 月
(6)「アラスタット 3gAllergy を指標として食物負荷試験結果を予測するプロバビリティーカーブ確立に関する多施設共同試験」	藤澤隆夫（国立病院機構三重病院） 研究期間：平成 24 年 9 月～27 年 3 月
(7)「ICS でコントロール不十分な乳幼児喘息患者における SFC の有用性検討」	吉原重美（獨協医科大学） 研究期間：平成 24 年 1 月～26 年 3 月
(8)「鼻炎合併喘息患者における QOL に関する観察研究」	大田　健（国立病院機構東京病院） 研究期間：平成 22 年 7 月～25 年 11 月
(9)「関西・北陸地区 2 府 7 県喘息患者実態追跡調査」	東田有智（近畿大学医学部） 研究期間：平成 24 年 12 月～25 年 12 月
2．第 63 回日本アレルギー学会秋季学術大会	日時：平成 25 年 11 月 28 日～30 日 場所：東京都（ホテルニューオータニ）
3．国際交流基金による助成金交付	日本人の海外での研究発表等、外国人の日本での研究発表、講演に対して交付　下記 3 名に対して助成金交付 井上英樹（国立病院機構京都医療センター） 鉄本訓史（大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学） 中野　学（弘前大学大学院保健学研究科）

実　施　事　業	概　　要
4．真鍋奨学助成	平成 25 年 6 月 7 日（金）運営委員会開催 第 3 回応募者 47 名の中から下記 5 名の研究者に受賞決定 出原賢治（佐賀大学医学部分子生命科学講座分子医化学分野） 「ペリオスチンを基盤としたアレルギー疾患の慢性化機序に対する治療戦略の確立」 乃村俊史（北海道大学病院皮膚科） 「アトピー性皮膚炎に対する新規治療法の開発」 神沼　修（公益財団法人東京都医学総合研究所花粉症プロジェクト） 「免疫療法の有効性を診断する遺伝子検査法の開発」 鈴木浩太郎（千葉大学大学院医学研究院アレルギー・臨床免疫学） 「アレルギー性接触性皮膚炎における M2 マクロファージの役割に関する研究」 皆川健太郎（神戸大学医学部附属病院総合内科） 「新規に同定された TFL による自己免疫疾患発症メカニズムの解明」 第 39 回 ISMH（International Society of Medical Hydrology and Climatology）世界大会、第 79 回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会への助成金交付
Ⅱ．研修会事業 賛助会員向け研修会 日時：平成 26 年 3 月 7 日（金） 場所：東医健保会館 参加人数：34 名	主題：アレルギー疾患の研究・診療における最近のトピックス 開会挨拶：宮本昭正（日本アレルギー協会理事長） 座長：宮本昭正（日本アレルギー協会） 講演：加畑宏樹（慶応大学病院呼吸器内科） 「ペリオスチンと気管支喘息」 久田剛志（群馬大学大学院医学系研究科病態制御内科学呼吸器アレルギー内科） 「職業性アレルギー疾患診療ガイドライン－職業性喘息を中心に－」 座長：土橋邦生（日本アレルギー協会研修担当理事） 講演：米倉修二（千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学） 「スギ花粉症の舌下免疫療法」 石井芳樹（獨協医科大学呼吸器・アレルギー内科） 「喘息－ COPD のオーバーラップ症候群」 閉会挨拶：土橋邦生（日本アレルギー協会研修担当理事）
Ⅲ．啓発活動事業 （1）第 20 回アレルギー週間 ①企画	1）統一標語：「アレルギーの克服に向けて」 2）アレルギー週間行事等 3）本部・支部啓発活動
②後援	厚生労働省、（公社）日本医師会、（一社）日本アレルギー学会
③啓発用ポスターの作製と配布	1）中小サイズのポスター作製 2）配布先：都道府県衛生部、全国保健所、都道府県市医師会、患者相談専門医等名簿掲載医師、薬局、患者団体　等 3）配布数：中小ポスター計 12,000 枚
④広報	1）本部・支部の講演会、医療相談会等の行事紹介 朝日新聞全国版：平成 26 年 1 月 31 日、2 月 4 日、2 月 8 日 2）協会ホームページ、メディアによる啓発報道

実　施　事　業	概　　要
(2) アレルギー週間中央講演会 日時：平成 26 年 2 月 23 日（日） 場所：有楽町朝日ホール 参加人数：455 名	テーマ：「アレルギー疾患の新しい治療」 共催：（一社）日本アレルギー学会 後援：厚生労働省、（公社）日本医師会、（公社）東京都医師会 総合司会：秋山一男（国立病院機構相模原病院院長） 開会挨拶：宮本昭正（日本アレルギー協会理事長） 講演：宇理須厚雄（藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院小児科教授） 「食物アレルギーの新しい治療指針」 大田　健（国立病院機構東京病院院長） 「気管支喘息の吸入療法」 大久保公裕（日本医科大学耳鼻咽喉科教授） 「舌下免疫療法」 佐伯秀久（東京慈恵会医科大学皮膚科准教授） 「アトピー性皮膚炎の新しい治療」 パネルディスカッション：総合司会、各演者
(3)「Allergy Today」発行	アレルギー疾患を持つ患者およびその家族を対象としたニュースレターを患者会、個人会員、賛助会員等に年 4 回発行、配布
(4) 患者相談協力専門医等名簿発行	平成 25 年度版患者相談協力専門医等名簿の発行と配布
(5) 専門医等紹介事業	患者からの電話による問い合わせに対して専門医等を紹介
Ⅳ. 学術情報活動事業	
(1) 機関誌「アレルギア」No.42 発行	平成 25 年 11 月に 6,000 部発行。日本アレルギー学会専門医、正会員、賛助会員等に配布
(2)「info Allergy」発行	アレルギー疾患の治療に携わる専門医、一般医、コメディカル、正会員、賛助会員向けに年 4 回発行、配布
Ⅴ. 広報活動事業	JAANet Station の名称でホームページでの情報提供
Ⅵ. 受託抗原輸入代行事業	研究目的のため、研究者の要請に基づき抗原の輸入代行
Ⅶ. 会議の開催	第 1 回理事会　　平成 25 年 6 月　7 日（金） 第 1 回評議員会　　平成 25 年 6 月 21 日（金） 第 2 回理事会　　平成 26 年 2 月 28 日（金） 第 2 回評議員会　　平成 26 年 3 月 14 日（金）

北海道支部（支部長　有賀　正）　　（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
Ⅰ. 研究助成事業 **自由課題研究助成**	
(1) 関節リウマチに対するトシリズマブの有効性について－ First biologic agent としての可能性	小池隆夫（NTT 東日本札幌病院） 研究期間：平成 25 年 5 月～平成 26 年 4 月
(2) ホスファチジルセリン依存性抗プロトロンビン抗体の標準化	小池隆夫（NTT 東日本札幌病院） 研究期間：平成 25 年 6 月～平成 26 年 5 月
(3) MTX 関連リンパ増殖性疾患のリスク解明	小池隆夫（NTT 東日本札幌病院） 研究期間：平成 25 年 10 月～平成 26 年 9 月
(4) 原発性免疫不全症の病態解明	有賀　正（北海道大学医学部小児科） 研究期間：平成 25 年 12 月～平成 26 年 11 月
(5) 全身性エリテマトーデスの血栓予防におけるスタチンの効果	小池隆夫（NTT 東日本札幌病院） 研究期間：平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

実　施　事　業	概　　要
Ⅱ．研究会事業	
(1) 第17回北海道アレルギー研究会（共催） 日時：平成25年6月1日（土） 場所：アートホテルズ札幌 参加人数：56名	一般演題：6題 特別講演：近藤直実（平成医療短期大学 / 岐阜大学名誉教授） 「喘息・アレルギーのテーラーメイド治療－治癒を目指して－」
(2) 第22回札幌臨床免疫アレルギーの集い（共催） 日時：平成25年7月24日（水） 場所：札幌医科大学 臨床第一講義室 参加人数：約70名	一般演題：2題 特別講演：國澤　純（独立行政法人医薬基盤研究所） 「腸内環境因子を介した免疫制御と創薬研究への展望」
(3) 第26回北海道小児リウマチ性疾患研究会（共催） 日時：平成26年2月22日（土） 場所：京王プラザホテル札幌 参加人数：約70名	一般演題：6題 特別講演：杉本英治（自治医科大学医学部放射線医学講座） 「脊椎関節炎と類縁疾患の画像診断」
Ⅲ．啓発活動 **第19回アレルギー週間**	
(1) 函館地区（主催） 日時：平成25年4月6日（土） 場所：函館市民会館小ホール 参加人数：約100名	世話人：山田　豊（函館中央病院小児科） 講演：高橋　豊（KKR札幌医療センター小児科） 「アレルギーなんか怖くない～こどものぜんそく・食物アレルギー・アトピー性皮膚炎～」
(2) 札幌地区（主催） 日時：平成25年4月13日（土） 場所：札幌市医師会館 大ホール 参加人数：164名	世話人：田中裕士（医大前南4条内科） 阿部理一郎（北海道大学皮膚科） 講演：阿部理一郎（北海道大学皮膚科） 「アトピー性皮膚炎」 高木　大（北海道大学耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎と花粉症」 星野恵美子（NTT東日本札幌病院小児科） 「食物アレルギーのはなし～食べて治す治療～」 田中裕士（医大前南4条内科） 「アレルギーによる - せき」
(3) 旭川地区（主催） 日時：平成25年5月18日（土） 場所：旭川北洋ビル大ホール 参加人数：約80名	世話人：大崎能伸（旭川医科大学呼吸器センター） 講演：古谷野伸（旭川医科大学小児科） 「食物アレルギーへの対応」 堀　仁子（旭川医科大学皮膚科） 「アトピー性皮膚炎の標準治療とセルフケア」 山本泰司（旭川医科大学呼吸器科） 「じょうずなぜんそくとのつきあい方」
(4) 帯広地区（主催） 日時：平成25年5月25日（土） 場所：帯広厚生病院 講堂 参加人数：51名	世話人：高村　圭（帯広厚生病院第一内科） 講演：伊佐田朗（北海道大学第一内科） 「肺のアレルギー～気管支喘息について」 北市伸義（北海道医療大学個体差医療科学センター眼科学系 / 北海道大学眼科） 「眼のアレルギー」
Ⅳ．会議の開催	
支部幹事会	日時：平成26年1月10（金） 場所：JRタワーホテル日航札幌

東北支部（支部長　山内広平）　（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
Ⅰ．研究助成事業 自由課題に対する研究助成（受託研究）	「Nrf2 遺伝子欠損マウスを用いた COPD モデルを用いたスタチンの効果の解析」 研究者：山内広平（岩手医科大学呼吸器・アレルギー・膠原病内科） 実施期間：平成 25 年 1 月～平成 25 年 12 月 「口腔細菌アレルギー疾患と HLA」 研究者：金子史男（脳神経疾患研究所付属皮膚免疫アレルギー疾患研究所） 実施期間　平成 25 年 4 月～平成 26 年 2 月
Ⅱ．研究会事業 実地医家向け研究会 (1) 第 27 回東北小児喘息アレルギー研究会 日時：平成 25 年 6 月 15 日 場所：ホテル辰巳屋 参加人数：85 名	【一般演題Ⅰ：4 題】 座長：三浦克志（宮城県立こども病院総合診療科） 【一般演題Ⅱ：3 題】 座長：森川みき（森川小児科アレルギー科クリニック） 【教育講演Ⅰ】 座長：市川陽子（いちかわクリニック） 講演：松原　篤（弘前大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科学講座） 「One airway, One disease：耳鼻科医の視点から」 【特別講演Ⅱ】 座長：岸　幹二（会津中央病院小児科） 講演：栗原和幸（神奈川県立こども医療センターアレルギー科） 「食物アレルギーの新しい概念と対応方法」
(2) 第 22 回福島県リウマチフォーラム 日時：平成 25 年 6 月 22 日 場所：郡山ビューホテル 参加人数：38 名	【一般演題Ⅰ：3 題】 座長：渡辺浩志（福島県立医科大学消化器・リウマチ膠原病内科学講座） 【一般演題Ⅱ：3 題】 座長：青田恵郎（福島県立医科大学整形外科学講座） 【特別講演】 座長：大平弘正（福島県立医科大学消化器・リウマチ膠原病内科学講座） 講演：浦田幸朋（つがる西北五広域連合西北中央病院リウマチ科） 「関節リウマチと B 型肝炎」
(3) 第 33 回秋田小児アレルギー研究会 日時：平成 25 年 7 月 6 日 場所：ホテルパールシティ秋田竿燈大通り 参加人数：45 名	【一般講演】 座長：工藤眞生（くどう小児科医院） 講演：澤口　博（澤口医院） 「食物アレルギー早期診断に皮膚テストは有用か？」 【特別講演Ⅰ】 座長：眞鍋　求（秋田大学皮膚科・形成外科） 講演：玉置　淳（東京女子医科大学第一内科） 「アレルギー性鼻炎合併喘息の病態と治療」 【特別講演Ⅱ】 座長：高橋　勉（秋田大学小児科） 講演：赤坂　徹（赤坂こどもクリニック） 「小児科医から診たアレルギー性疾患と心身症及び関連疾患」

実　施　事　業	概　　要
(4) 第47回東北アレルギー懇話会 日時：平成25年7月13日 場所：福島ビューホテル 参加人数：78名	【一般演題：8題】 座長：海瀬俊治（大原綜合病院） 小川　洋（福島県立医科大学会津医療センター） 【特別講演：基礎】 座長：棟方　充（福島県立医科大学附属病院） 講演：斎藤博久（独立行政法人国立成育医療研究センター研究所） 「マスト細胞」 【特別講演：臨床】 座長：一ノ瀬正和（東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野） 講演：大田　健（独立行政法人国立病院機構東京病院） 「最新のガイドラインJGL2012に沿った成人喘息の治療戦略」
(5) 第9回宮城県免疫アレルギー懇話会 日時：平成25年7月13日 場所：ハーネル仙台 参加人数：34名	【一般演題】 座長：大島猛史（東北大学耳鼻咽喉・頭頸部外科） 講演1：本蔵陽平（東北大学耳鼻咽喉・頭頸部外科） 「診断に苦慮した難治性口腔咽頭潰瘍症例」 講演2：塚田　全（東北大学皮膚科） 「多彩な皮膚症状を呈した再発性多発軟骨炎の1例」 講演3：渡邊庸平（宮城県立こども病院総合診療科） 「当院における経口免疫療法の検討」 【特別講演】 座長：相場節也（東北大学皮膚科） 講演：永尾圭介（慶應義塾大学医学部皮膚科学教室） 「皮膚免疫におけるランゲルハンス細胞と毛嚢の役割」
(6) 第3回いわて小児アレルギー疾患研究会 日時：平成25年8月24日 場所：ホテルメトロポリタン盛岡NW 参加人数：52名	【シンポジウム】 座長：山口淑子（山口クリニック） コメンテーター：伊藤浩明（あいち小児保健医療総合センターアレルギー科内科） 〈症例報告〉 講演：福盛田修（ふくもりたこどもクリニック・アレルギー科） 「乳児の主食　米・小麦食物アレルギーの経口免疫療法の試み」 〈研究報告〉 講演：大津　修（岩手県立大船渡病院小児科） 「病院小児科における食物アレルギーの診療」 〈研究報告〉 講演：佐々木美香（岩手医科大学小児科学講座） 「当科外来におけるアレルギー食物負荷試験および経口免疫療法の現状と問題点」 【特別講演】 座長：赤坂　徹（赤坂こどもクリニック） 講演：伊藤浩明（あいち小児保健医療総合センターアレルギー科内科） 「必要最小限の除去を目指した食物アレルギーの診療」
(7) 第10回ふくしま小児アレルギー・喘息治療懇話会 日時：平成25年8月31日 場所：ホテルハマツ 参加人数：37名	【一般講演】 座長：岸　幹二（会津中央病院小児科） 講演：鈴木重雄（大原綜合病院小児科） 「当科におけるアレルギー疾患あれこれ ～最近経験した症例を中心に～」

実　施　事　業	概　　要
	【特別講演】 座長：太神和廣（おおがチャイルドクリニック） 講演：近藤直実（平成医療短期大学） 「喘息・アレルギーのテーラーメイド医療 ～治癒を獲得するために～」
(8) 岩手県 COPC 臨床フォーラム 日時：平成 25 年 9 月 14 日 場所：ホテル東日本 参加人数：31 名	【特別講演】 座長：山内広平（岩手医科大学呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野） 講演：福地義之助（順天堂大学医学部呼吸器内科） 「COPD に関する最新の話題」
(9) 山形喘息セミナー第 11 回学術講演会 日時：平成 25 年 9 月 26 日 場所：グランドホクヨウ 参加人数：47 名	【一般演題】 座長：岡田昌彦（米沢市立病院） 講演 1：本間信夫（米沢市立病院小児科） 「思春期小児喘息の管理」 講演 2：池田英樹（三友堂病院診療第一部） 「風邪症状で一般内科を受診する患者のアレルギー性鼻炎の頻度」 【特別講演】 座長：池田英樹（三友堂病院診療第一部） 講演：松井永子（岐阜大学医学部附属病院小児科） 「気管支喘息の発症、増悪のテーラーメイド予知予防－成人移行予防としての両輪療法の試みを含めて－」
(10) 第 7 回東北喘息 /COPD 研究会 日時：平成 25 年 9 月 28 日 場所：仙台　勝山館 参加人数：101 名	【特別講演Ⅰ】 座長：黒沼忠由樹（独立行政法人国立病院機構青森病院アレルギー科） 講演：吉原重美（獨協医科大学小児科学） 「乳幼児喘息の治療戦略」 【特別講演Ⅱ】 座長：山内広平（岩手医科大学呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野） 講演：宮川武彦（宮川病院） 「実地臨床における喘息治療の最前線～SMART 療法を中心に～」
(11) 第 37 回青森県アレルギー懇話会学術講演会 日時：平成 25 年 10 月 25 日 会場：八戸パークホテル 参加人数：17 名	【特別講演】 座長：鹿内喜佐男（医療法人仁樹会鹿内内科医院） 講演：堀口高彦（藤田保健衛生大学医学部呼吸器内科Ⅱ講座） 「高齢者喘息の治療戦略～喘息予防・管理ガイドライン 2012 を踏まえて～」
(12) 杜の都 Allergic Rhinitis Seminar 2013 日時：平成 25 年 10 月 27 日 場所：トラストシティカンファレンス仙台 参加人数：42 名	【一般演題】 座長Ⅰ：本田耕平（秋田大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座） 講演 1：太田伸男（山形大学医学部附属病院耳鼻咽喉科） 「ガマ腫に対する OK-432 局所注入療法－コツと落とし穴－」 講演 2：高木　大（北海道大学病院耳鼻咽喉科） 「IgG4 関連疾患における鼻副鼻腔病変について」 座長Ⅱ：中丸裕爾（北海道大学病院耳鼻咽喉科） 講演 3：牛来茂樹（いわき市立総合磐城共立病院耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎および副鼻腔炎の治療満足度改善への取り組み」

実　施　事　業	概　　要
	講演 4：白崎英明（札幌医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座） 「第 3 のロイコトリエン受容体の鼻アレルギーにおける役割について」 【特別講演】 座長：松原　篤（弘前大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科学講座） 講演：藤枝重治（福井大学医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉科・頭頸部外科学） 「好酸球性副鼻腔炎の実際とピットフォール－アレルギー性鼻炎との関連を含めて－」
(13) 日本アレルギー協会東北支部学術講演会 日時：平成 25 年 11 月 2 日 場所：江陽グランドホテル 参加人数：68 名	【特別講演Ⅰ】 座長：松原　篤（弘前大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科学講座） 講演：松脇由典（東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科） 「好酸球性副鼻腔炎の診断と治療戦略」 【特別講演Ⅱ】 座長：三浦克志（宮城県立こども病院総合診療科） 講演：足立雄一（富山大学大学院医学薬学研究科小児科学講座） 「小児における one airway,one disease」 【特別講演Ⅲ】 座長：一ノ瀬正和（東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野） 講演：堀口高彦（藤田保健衛生大学医学部呼吸器内科学Ⅱ講座） 「高齢者喘息の治療戦略 －ロイコトリエン受容体拮抗薬の有用性を含めて－」
(14) 第 12 回気道疾患対策セミナー 日時：平成 26 年 2 月 1 日 場所：江陽グランドホテル 参加人数：182 名	【気道疾患対策会議活動報告】 座長：小川　洋（福島県立医科大学会津医療センター耳鼻咽喉科学講座） 講演：松原　篤（弘前大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科学講座） 「小児アレルギー性鼻炎に対する実態調査」 【特別講演Ⅰ】 座長：柴田陽光（山形大学医学部附属病院第一内科） 講演：杉浦久敏（東北大学病院呼吸器内科） 「成人気管支喘息の最近の話題 －気道炎症と一酸化窒素－」 【特別講演Ⅱ】 座長：大島猛史（東北大学大学院耳鼻咽喉科学分野） 講演：本田耕平（秋田大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座） 「鼻副鼻腔炎の診断と治療」 【特別講演Ⅲ】 座長：一ノ瀬正和（東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野） 講演：徳山研一（埼玉医科大学医学部） 「小児気管支喘息の事態と治療・管理の考え方」
(15) 第 14 回郡山アレルギー研究会 日時：平成 26 年 2 月 22 日 場所：ホテルハマツ（郡山市） 参加人数：22 名	【学術講演】 座長：前田真作（寿泉堂総合病院） 講演：吾妻啓佑（寿泉堂病院呼吸器内科） 「成人 Still 病の 1 例」

実　施　事　業	概　　要
	【特別講演Ⅰ】 座長：太神和廣（おおがチャイルドクリニック） 講演：小田嶋博（国立病院機構福岡病院） 「環境が与える健康影響～小児アレルギーについて」 【特別講演Ⅱ】 座長：金子史男（総合南東北病院皮膚免疫・アレルギー疾患研究所） 講演：中村晃一郎（埼玉医科大学皮膚科） 「アレルギー性皮膚疾患の最新の話題について」
(16) 第21回福島県アレルギー研究会 日時：平成26年2月22日 場所：福島テルサ 参加人数：32名	【一般演題】6題 座長：大塚幹夫（福島県立医科大学医学部皮膚科学講座） 小林浩子（福島県立医科大学医学部消化器・リウマチ膠原病内科学講座） 【特別講演】 座長：海瀬俊治（大原綜合病院） 講演：村島温子（国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター） 「妊娠・授乳中のアレルギー疾患治療薬の使い方」
(17) 第43回岩手アレルギー・呼吸器懇話会 日時：平成26年2月27日 場所：ホテルメトロポリタン盛岡NW 参加人数：28名	【特別講演Ⅰ】 座長：山内広平（岩手医科大学内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科） 講演：石井芳樹（獨協医科大学呼吸器・アレルギー内科） 「ロイコトリエンからみた喘息の病態と治療」 【特別講演Ⅱ】 座長：千田勝一（岩手医科大学医学部小児科学講座） 講演：亀田　誠（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科） 「小児気管支喘息の服薬指導」
Ⅲ. 啓発活動事業 **第20回アレルギー週間** (1) 山形市 日時：平成26年2月23日 場所：山形ビッグウイング 参加人数：270名	「アレルギーはこわくない」 司会：鈴木民夫（山形大学医学部皮膚科） 講演：佐藤文子（山形市立病院済生館皮膚科） 「アトピー性皮膚炎について」 井上純人（山形大学医学部附属病院第一内科） 「喘息とのつきあい方」 太田伸男（山形大学医学部附属病院耳鼻咽喉科） 「花粉症とのつきあい方」
(2) 仙台市 日時：平成26年2月23日 場所：江陽グランドホテル 参加人数：358名	「ぜんそくと花粉症」 座長：相場節也（東北大学病院皮膚科） 【第一部】 基調講演1 講演：田村　弦（日本アレルギー協会理事） 基調講演2 講演：綿谷秀弥（池田クリニック） 【第二部】パネルディスカッション コーディネーター：田村　弦（日本アレルギー協会理事） パネリスト：相場節也（東北大学病院皮膚科） 三浦元彦（東北労災病院呼吸器内科） 綿谷秀弥（池田クリニック）

実　施　事　業	概　　要
(3) 弘前市 日時：平成 26 年 3 月 1 日 場所：弘前市民文化交流館ホール 参加人数：126 名	「アレルギーとどう付き合うか ～さまざまなアレルギーとその対処法～」 座長：高梨信吾（弘前大学保健管理センター） 講演：松原　篤（弘前大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科学講座） 「鼻と耳のアレルギー」 金子高英（弘前大学医学部附属病院皮膚科） 「食物アレルギーと一言で言っても ～皮膚科医が出会う食物アレルギーのいろいろ～」 黒沼忠由樹（独立行政法人国立病院機構青森病院アレルギー科） 「子供の喘息について」 山本勝丸（独立行政法人国立病院機構弘前病院呼吸器科） 「喘息の上手な日常管理～発作ゼロの生活を目指して～」 Ｑ＆Ａ 質問コーナー：
(4) 秋田市 日時：平成 26 年 3 月 1 日 場所：イオンモール秋田イオンホール 参加人数：50 名	「いっしょに学ぼうアレルギー ～過剰な情報に惑わされないために～」 司会：植木重治（秋田大学大学院総合診療・検査診断学講座） 講演：鈴木朋美（市立横手病院アレルギー科） 「間違えやすい食物アレルギー」 小松真紀（秋田組合総合病院小児科） 「小児の食物アレルギー」 本田耕平（秋田大学医学部附属病院耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎の現状と対策」 早川宏一（秋田組合総合病院眼科） 「目のアレルギーの検査と治療について」 アレルギー質問・相談コーナー：
(5) 盛岡市 日時：平成 26 年 3 月 8 日 場所：岩手教育会館 参加人数：70 名	「鼻アレルギー　治療の現況」 司会：佐藤護人（佐藤耳鼻咽喉科医院） 講演：亀井昌代（岩手医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科） 「小児の鼻アレルギー」 遠藤芳彦（岩手県立中央病院耳鼻咽喉科） 「好酸球性副鼻腔炎」 佐藤護人（佐藤耳鼻咽喉科医院） 「花粉症～新しい治療法について～」 質疑応答：
(6) 米沢市 米沢小児アレルギー教室 日時：平成 26 年 3 月 16 日 会場：アクティー米沢 参加人数：54 名	「小児アレルギー・QOL の向上を目指して」 総合司会：岡田昌彦（米沢市立病院小児科） 講演：斉藤誠一（舟山病院小児科） 「小児喘息とアドヒアランス」 須藤迪依（米沢市立病院） 「吸入療法の落とし穴」 本間信夫（米沢市立病院小児科） 「食物アレルギーとアナフィラキシー」 本間恵美（米沢市立病院） 「米沢市におけるアナフィラキシーの対応－エピペン指導の状況－」

実　施　事　業	概　　要
(7) 会津若松市 日時：平成 26 年 3 月 23 日 場所：会津若松市文化センター 参加人数：100 名	「さまざまなアレルギー疾患とその治療」 座長：小川　洋（福島県立医科大学会津医療センター耳鼻咽喉科学講座） 講演：大島謙吾（福島県立医科大学会津医療センター） 「その“せき”って本当にカゼですか？」 伊藤俊晴（いとう子どもクリニック） 「子どもの食物アレルギー」 壁谷雅之（かべや耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎」 山口英郎（山口皮ふ科医院） 「アレルギー性皮膚疾患とその治療」
Ⅳ．定例会議 平成 25 年 7 月 13 日 平成 25 年 11 月 2 日	 第 1 回東北支部世話人会（於：福島市） 第 2 回東北支部世話人会（於：仙台市）

北関東支部（支部長　土橋邦生）　　（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
Ⅰ．研究会事業	
(1) 第 61 回新潟アレルギー研究会（共催） 日時：平成 25 年 6 月 8 日（土） 場所：チサンホテル＆コンファレンスセンター新潟 参加人数：54 名	特別講演：荒川浩一（群馬大学大学院医学系研究科小児科学教授） 「子どもの長引く咳嗽へのアプローチ」 教育講演：大湖健太郎（高知大学皮膚科助教） 「小麦依存運動誘発アレルギー　新潟県での状況」 一般演題：2 題
(2) 第 62 回新潟アレルギー研究会（共催） 日時：平成 25 年 10 月 12 日（土） 場所：チサンホテル＆コンファレンスセンター新潟 参加人数：66 名	特別講演：大谷道輝（東京逓信病院薬剤部副薬剤部長） 「皮膚外用剤を科学する」 教育講演：鈴木和夫（新潟県立六日町病院内科） 「過敏性肺臓炎－特にキノコ栽培業者関連の肺炎について－」 一般演題：2 題
(3) 第53回茨城県小児アレルギー研究会(共催) 日時：平成 25 年 11 月 14 日（木） 場所：三の丸ホテル（水戸） 参加人数：44 名	症例検討会： 講演：黒田わか（茨城県立こども病院小児科） 「甘味料（エリスリトール・スクラロース）による即時型アレルギーの 2 例」 講演：稲田恵美（筑波メディカルセンター病院小児科） 「タイ（鯛）でアナフィラキシーが誘発された 1 歳女児」 特別講演：近藤康人（藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院小児科准教授） 「食物アレルギーにおける IgE の交差反応」
(4) 渋川地区・吾妻郡医師会学術講演会(共催) 日時：平成 25 年 12 月 2 日（月） 場所：渋川地区医師会館 参加人数：30 名	講演：土橋邦生（群馬大学大学院保健学研究科教授） 「COPD の地域連携について」 講演：木田厚瑞（日本医科大学呼吸器内科特任教授 / 呼吸ケアクリニック所長） 「COPD ガイドラインに関する最新の話題」
(5) 第 11 回新潟吸入療法研究会 日時：平成 26 年 1 月 18 日 場所：万代シルバーホテル 参加人数：84 名	特別講演：青柴和徹（東京医科大学茨城医療センター呼吸器教授） 「喘息と COPD のオーバーラップ症候群」 一般演題：3 題

実　施　事　業	概　　要
(6) 第16回新潟喘息治療研究会 日時：平成26年3月8日 場所：万代シルバーホテル 参加人数：100名	特別講演：浅野浩一郎（東海大学医学部内科学系呼吸器内科学教授） 「重症喘息の病態に迫る」 一般演題：3題
II．啓発活動事業 **1．第20回アレルギー週間** (1) 茨城県 日時：平成26年2月16日（日） 場所：イーアスつくば2階 イーアスホールA 参加人数：72名	総合司会：檜澤伸之（筑波大学医学医療系呼吸器内科教授） 第一部：青木　健（あおきこどもクリニック院長） 「小児食物アレルギーについて」 第二部：檜澤伸之（筑波大学医学医療系呼吸器内科教授） 「長引く咳・止まらない咳、どうしたらいいの？」
(2) 新潟県 日時：平成26年2月16日（日） 場所：新潟ユニゾンプラザ 参加人数：65名	講演：中山　徹（なかやま眼科） 「アレルギー性眼疾患」 大湖健太郎（高知大学医学部皮膚科） 「アトピー性皮膚炎」 川崎　克（空港前クリニック） 「アレルギー性鼻炎」 鈴木和夫（新潟県立六日町病院内科） 「成人喘息」 阿部時也（新潟市民病院小児科） 「小児喘息」 渡部陽子（ファーマシーダイマル） 「薬剤アレルギー」 医療相談会：
(3) 茨城県 日時：平成26年2月18日（火） 場所：ホテルグランド東雲（つくば） 参加人数：52名	特別講演： 座長：檜澤伸之（筑波大学医学医療系呼吸器内科教授） 講演：松瀬厚人（長崎大学院医歯薬学総合研究科呼吸器病態制御学分野（第二内科）准教授） 「ウィルス感染が成人喘息に及ぼす影響」 特別講演： 座長：市川邦男（筑波メディカルセンター病院小児科診療部長） 講演：徳山研一（埼玉医科大学小児科教授） 「こどもの咳嗽とアレルギー」
(4) 群馬県 日時：平成26年2月22日（土） 場所：群馬大学ミレニアムホール 参加人数：44名	講演：佐藤幸一郎（群馬大学病院小児科） 「食物アレルギー　最近の話題」 天野博雄（群馬大学病院皮膚科） 「アトピー性皮膚炎の診断と治療－ぬりぐすりを中心に－」 鎌田英男（群馬大学病院耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎　特にスギ花粉症の治療」 医療相談会
(5) 栃木県 日時：平成26年2月28日（金） 場所：ホテル東日本宇都宮 参加人数：25名	特別講演：池田政憲（国立病院機構福山医療センター小児科系） 「小児喘息の最新の話題」 特別講演：放生雅章（国立国際医療研究センター病院呼吸器内科） 「喘息治療の次なる一手」～実地臨床におけるSMART療法の上手な活用法～

実　施　事　業	概　　要
2．一般向け (1) 第 25 回小児喘息アレルギー教室（主催） 日時：平成 25 年 10 月 12 日（土） 場所：筑波メディカルセンター病院 ヘリ棟 4 階中会議室 参加人数：13 名	演題：松瀬厚人（長崎大学大学院医師薬学総合研究科呼吸器病態制御学分野 テーマ：食物アレルギー 講演：鈴木寿人（筑波メディカルセンター病院小児科） 「食物アレルギーについて知ろう」 講演：秋野早苗（筑波メディカルセンター病院管理栄養士） 「正しい知識で、楽しく美味しく」 実技：高橋直美 / 鴨志田真弓（筑波メディカルセンター小児科外来 / 小児病棟看護師 / 小児アレルギーエデュケーター） ファイザー株式会社 「緊急時の対応とエピペンの使い方」 総合討論：市川邦男（筑波メディカルセンター病院小児科）
(2) 第 26 回小児喘息アレルギー教室（主催） 日時：平成 26 年 2 月 15 日（土） 場所：筑波メディカルセンター病院 ヘリ棟 4 階中会議室 参加人数：29 名	テーマ：食物アレルギー 講演：鈴木寿人（筑波メディカルセンター病院小児科） 「食物アレルギーの原因・症状・対処方法」 講演：秋野早苗（筑波メディカルセンター病院管理栄養士） 実技：高橋直美 / 鴨志田真弓（筑波メディカルセンター小児科外来 / 小児病棟看護師 / 小児アレルギーエデュケーター） 「緊急時の対応とエピペン使用のタイミング」 総合討論：市川邦男（筑波メディカルセンター病院小児科）

関東支部（支部長　伊藤幸治）　　（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
Ⅰ．啓発活動事業 **第 20 回アレルギー週間** (1) 埼玉地区 日時：平成 26 年 2 月 1 日（土） 場所：さいたま共済会館 501 ＋ 502 会議室 参加人数：67 名	アレルギー週間市民公開講座 2014 －正しい知識が治療の第一歩です。あなたも参加してみませんか－ 司会：永田　真（埼玉医科大学呼吸器内科） 第 1 部：講演 上條　篤（埼玉医科大学耳鼻咽喉科） 「スギ花粉症」 小山信一郎（自治医科大学附属さいたま医療センター呼吸器科） 「気管支喘息」 戸塚隆太（いわつき小児クリニック） 「食物アレルギー」 第 2 部：公開質問
(2) 東京城北・多摩地区 日時：平成 26 年 2 月 9 日（日） 場所：帝京大学本部棟 4 階会議室 1 雪のため延期：平成 26 年 4 月 19 日（土）	アレルギー週間市民公開講座 ～アレルギーの克服に向けて～ 司会：長瀬洋之（帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学） 講演：山口正雄（帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学） 「成人喘息の最新治療」 小林茂俊（帝京大学医学部小児科学） 「食物アレルギーの現状と対応法」 質疑応答

実　施　事　業	概　　要
(3) 山梨地区 日時：平成 26 年 2 月 9 日（日） 場所：山梨大学医学部（玉穂キャンパス） 臨床小講堂	山梨アレルギー市民フォーラム 2014 講演：松岡伴和（山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学） 「花粉症について」 杉山　剛（山梨大学医学部小児科学） 「小児気管支喘息について」 塚本克彦（山梨県立中央病院皮膚科） 「アトピー性皮膚炎について」 池田久剛（山梨厚生病院小児科） 「食物アレルギーについて」
(4) 千葉中央地区 日時：平成 26 年 2 月 16 日（日） 場所：千葉市文化センター 5 階セミナー室 参加人数：約 50 名	アレルギー週間市民公開講座 ～アレルギー疾患の克服に向けて～ 開会挨拶：西牟田敏之（国立病院機構下志津病院） 第 1 部：講演 座長：河野陽一（千葉労災病院） 講演：山出晶子（千葉県こども病院アレルギー・膠原病科） 「食物アレルギーへの最近の取り組み」 星岡　明（千葉県こども病院アレルギー・膠原病科） 「喘息、子どもから大人まで、今すぐできること」 座長：岡本美孝（千葉大学耳鼻咽喉科頭頸部腫瘍学） 講演：山本陛三郎（千葉大学耳鼻咽喉科頭頸部腫瘍学） 「花粉症の治療管理」 神戸直智（千葉大学皮膚科学） 「アトピー性皮膚炎、外用剤の上手な使い方」 第 2 部：質問コーナー 座長：西牟田敏之（国立病院機構下志津病院） 椿　俊和（つばきこどもクリニック） 相談回答者：第 1 部講演の講師 閉会挨拶：河野陽一（千葉労災病院）
(5) 神奈川地区 日時：平成 26 年 2 月 23 日（日） 場所：横浜新都市ビル（そごう） 9 階ミーティングルーム 参加人数：70 名	アレルギー患者相談会 －アレルギー疾患の予防、治療法をより良く知るために－ 講演：谷口正美（国立病院機構相模原病院） 「大人の喘息やアレルギーの自己対応法について」 個別相談： 小児科（食物アレルギー・アトピー性皮膚炎・小児喘息など） 相談員：高増哲也（神奈川県立こども医療センター） 海老澤元宏（国立病院機構相模原病院） 皮ふ科（成人アトピー性皮膚炎・じんましんなど） 相談員：朝比奈昭彦（国立病院機構相模原病院） 髙橋一夫（藤沢市民病院） 内科（成人喘息・アレルギー性鼻炎など） 相談員：谷口正美（国立病院機構相模原病院） 秋山一男（国立病院機構相模原病院）
(6) 長野地区 日時：平成 26 年 3 月 1 日（土） 場所：信州大学医学部附属病院外来棟 4F 大会議室 参加人数：約 30 名	信州アレルギー市民フォーラム 2014 開会挨拶：花岡正幸(信州大学医学部附属病院呼吸器・感染症内科) 講演：藤本圭作（信州大学医学部生体情報検査学） 「おとなの喘息管理と最新治療」 安尾将法（信州大学医学部附属病院呼吸器・感染症内科） 「アレルギー性鼻炎（花粉症）とぜんそく 小林法元（信州大学医学部小児科学） 「こどもの喘息の特徴」 質問の時間 閉会挨拶：藤本圭作（信州大学医学部生体情報検査学）

実　施　事　業	概　　要
(7) 千葉東部地区 日時：平成26年3月2日（日） 場所：東邦大学医療センター佐倉病院 7階講堂 参加人数：約80名	市民公開講座 ～アレルギー・アトピーの克服に向けて～ 開演前：専門医による無料医療相談コーナー 開会挨拶：岩本逸夫（国保旭中央病院アレルギー・リウマチセンター） 第1部講演： 司会：関根邦夫（せきねこどもクリニック） 講演：松山　剛（千葉県立佐倉病院小児科） 「食物アレルギーQ＆A」 太田　康（東邦大学医療センター佐倉病院耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎の治療」 第2部講演： 司会：鳥居敏明（鳥居内科医院） 講演：佐藤一樹（国立病院機構下志津病院小児科・アレルギー科） 「小児喘息は治せるか？」 岩本逸夫（国保旭中央病院アレルギー・リウマチセンター） 「成人喘息：正しい薬の使い方」 閉会挨拶：小川芳信（印旛市郡医師会）
Ⅱ．広報活動事業	「関東支部だより」の発行 関東支部個人会員向けに配布 第14号　平成25年6月発行 第15号　平成26年1月発行
Ⅲ．会議の開催	関東支部評議員会開催 平成25年7月31日（水）

東海支部（支部長　高木健三）　　（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
Ⅰ．研究会事業	
(1) 第15回名古屋呼吸器研究会（後援） 日時：平成25年5月30日（木） 場所：名古屋マリオットアソシアホテル 参加人数：114名	特別講演 座長：長谷川好規（名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科） 講師：山内広平（岩手医科大学呼吸器・アレルギー・膠原病内科） 「被災地より学ぶ呼吸器疾患管理の課題と今後」 座長：川部　勤（名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学） 講師：三浦克志（宮城県立こども病院総合診療科） 「災害時におけるアレルギー疾患児への対応（東日本大震災を振り返って）」
(2) 第53回東海喘息研究会（後援） 日時：平成25年9月19日（木） 場所：メルパルク名古屋 参加人数：37名	教育講演 座長：岡澤光芝（藤田保健衛生大学呼吸器内科・アレルギー科） 講師：野田幸裕（名城大学薬学部病態解析学Ⅰ） 「より良い喘息コントロールを目指して：吸入指導での課題とコツ」 特別講演 座長：今泉和良（藤田保健衛生大学呼吸器内科・アレルギー科） 講師：玉置　淳（東京女子医科大学第一内科） 「アレルギー性鼻炎合併喘息の病態と治療：one airway, one disease の観点から」

実　施　事　業	概　　要
(3) 第13回愛知成人喘息研究会（後援） 日時：平成25年9月25日（木） 場所：名古屋マリオットアソシアホテル 参加人数：57名	特別講演 座長：今泉和良（藤田保健衛生大学呼吸器内科・アレルギー科） 講師：森　晶夫（国立病院機構相模原病院臨床研究センター） 「喘息予防・管理ガイドライン2012について」 講師：長瀬洋之（帝京大学医学部呼吸器・アレルギー内科） 「アレルギー性鼻炎合併喘息について」 講師：秋山真志（名古屋大学大学院医学系研究科皮膚病態学） 「アトピー性疾患と喘息：皮膚バリア機能障害との関連」 パネルディスカッション 「喘息と全身性アレルギー像」 座長：長谷川好規（名古屋大学大学院医学研究科呼吸器内科） パネリスト： 森　晶夫（国立病院機構相模原病院臨床研究センター） 長瀬洋之（帝京大学医学部呼吸器・アレルギー内科） 秋山真志（名古屋大学大学院医学系研究科皮膚病態学）
(4) 第40回東海花粉症研究会（後援） 日時：平成25年12月14日（土） 場所：名古屋ダイヤビルディング2号館 参加人数：40名	テーマ演題：10題 一般演題：3題 特別演題 座長：水田啓介（岐阜大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学） 講師：松原　篤（弘前大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科） 「耳鼻科領域におけるOne airway, One disease. －スギ花粉症から好酸球性中耳炎までー」
(5) 第54回東海喘息研究会（後援） 日時：平成26年3月6日（木） 場所：メルパルク名古屋 参加人数：44名	教育講演 座長：新実彰男（名古屋市立大学大学院医学研究科腫瘍・免疫内科学） 講師：竹村昌也（名古屋市立大学大学院医学研究科腫瘍・免疫内科学） 「吸入療法におけるアドヒアランスの現状と課題」 特別講演 座長：新実彰男（名古屋市立大学大学院医学研究科腫瘍・免疫内科学） 講師：横山彰仁（高知大学医学部血液・呼吸器内科学） 「気管支喘息の病態と治療戦略」
II．啓発活動事業 **第20回アレルギー週間** (1) 三重県 日時：平成26年2月13日（木） 場所：三重大学病院耳鼻咽喉・頭頸部外科外来 参加人数：5名	アレルギー性鼻炎・花粉症の医療相談会 竹内万彦（三重大学耳鼻咽喉科）
(2) 岐阜県 日時：平成26年2月17日（月） 場所：岐阜大学医学部附属病院1階多目的ホール 参加人数：21名	アレルギーについての講演および質疑応答 「こどもの食物アレルギー」 司会：松井永子 講師：川本典生（岐阜大学大学院小児病態学）
(3) 愛知県 日時：平成26年2月20日（木） 場所：名古屋大学医学部附属病院呼吸器外来 参加人数：1名	成人気管支喘息患者相談会 川部　勤（名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学）

北陸支部（支部長　眞弓光文）

（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
Ⅰ．研究会事業	
(1) 第34回富山免疫アレルギー研究会(後援) 日時：平成25年5月30日 場所：ホテルグランテラス富山 参加人数：29名	座長：金兼弘和（富山大学医学部小児科） 一般演題１：金兼弘和（富山大学医学部小児科） 「家族性地中海熱の１例」 一般演題２：小尾麻衣子（富山大学医学部第一内科） 「急激な末梢血好酸球増多を契機に診断されたangioimmunoblastic T cell lymphomaの１例」 特別講演 座長：宮脇利男（富山大学名誉教授） 講演：平家俊男（京都大学医学部小児科教授） 「発熱性疾患診療の新展開～ベンチサイドとベットサイドの連携～」
(2) 第15回北陸喘息治療研究会（後援） 日時：平成25年5月25日 場所：ANA CROWNE PLAZA KANAZAWA 参加人数：44名	座長：栂　博久（金沢医科大学呼吸器内科学） 講師：森川美羽（福井大学医学部内科学（3）） 「抗IgE抗体療法の投与間隔延長が可能であった最重症気管支喘息の２例」 座長：林　龍二（富山大学附属病院呼吸器内科） 講師：金澤　博（大阪市立大学大学院医学研究科呼吸器病態制御内科学） 「気道の粘膜血流制御から見た喘息治療の新展開」
(3) 北陸小児喘息治療研究会学術講演会（後援） 日時：平成25年6月15日 場所：金沢エクセルホテル東急 参加人数：27名	特別講演Ⅰ 座長：和田泰三（金沢大学医薬保健研究域医学系小児科学） 講師：石塚　全（福井大学医学部内科学（3）） 「青年期の気管支喘息～性差を中心に～」 特別講演Ⅱ 座長：大嶋勇成（福井大学医学部小児科学） 講師：堤　裕幸（札幌医科大学医学部小児科） 「RSウイルス感染症と喘鳴・喘息」
(4) 第40回北陸アレルギー研究会（共催） 日時：平成25年12月7日 場所：金沢都ホテル 参加人数：42名	座長：東馬智子（金沢大学附属病院小児科） 一般演題１：和田泰三（金沢大学医薬保健研究域医学系小児科） 「重症皮膚病変と好酸球増多で発症しCDSN遺伝子に巨大欠失を認めたpeeling skin syndromeの女児例」 一般演題２：足立陽子（富山大学医学部小児科） 「お好み焼きによる小麦依存性運動誘発アナフィラキシーが疑われた１例」 座長：板澤寿子（富山大学附属病院小児科） 一般演題３：村井宏生（福井大学医学部附属病院小児科） 「学校関係者対象のエピペン実践指導を含む講習会はその意識改善に重要である」 一般演題４：金兼千春（国立病院機構富山病院アレルギー科） 「茶のしずく石鹸による小麦アレルギーのその後」 一般演題５：中尾将治（石川県立中央病院皮膚科） 「膿疱性乾癬と鑑別を要したメキシレチン塩酸塩による薬剤過敏性症候群の１例」

実　施　事　業	概　　要
(5) 第17回北陸喘息研究会（共催） 日時：平成26年3月1日 場所：金沢都ホテル 参加人数：57名	特別講演Ⅰ 座長：中村利美（金沢医科大小児科学） 講演：長尾みづほ（国立病院機構三重病院臨床研究部　アレルギー疾患治療開発研究室長） 「小児気管支喘息のよりよいコントロールをめざして ～ICS/LABAの位置付け」 特別講演Ⅱ 座長：栂　博久（金沢医科大学呼吸器内科学） 講演：相良博典（昭和大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー内科学部門教授） 「これからの喘息治療展開と課題」
Ⅱ．啓発活動事業 **第20回アレルギー週間** (1) 富山県 日時：平成25年2月17日 場所：富山総合福祉会館 サンシップとやま 参加人数：49名	第20回アレルギー週間記念行事 アレルギー疾患講演会と相談会 講演：中川　肇（富山大学耳鼻咽喉科・経営企画情報部） 「アレルギー性鼻炎とつきあう」 足立陽子（富山大学小児科） 「食物アレルギーとどう向き合うか（経口免疫療法を含め）」 牧野輝彦（富山大学皮膚科） 「アトピー性皮膚炎－最近の話題－」 個別相談会：
(2) 石川県 日時：平成25年2月15日 場所：金沢大学附属病院新外来棟宝ホール 参加人数：80名	第20回アレルギー疾患の講演と相談会 「アレルギー疾患：治療の基本とトピックス」 講演：濱口儒人（金沢大学皮膚科） 「アトピー性皮膚炎の治療－最近の知見を含めて－」 村岡正裕（金沢大学小児科） 「食物アレルギー　アナフィラキシーとその対応について」 若江春花（金沢大学眼科） 「目の周りのアレルギー疾患」 上野貴雄（金沢大学耳鼻咽喉科） 「花粉症の対策と舌下免疫療法」 岡崎彰仁（金沢大学呼吸器内科） 「成人気管支喘息について」 個別相談会：
(3) 福井県 日時：平成25年2月21日 場所：福井大学附属病院 相談件数：15件	2014アレルギー週間・福井アレルギー電話相談： ・成人気管支喘息について（呼吸器内科） ・アトピー性皮膚炎・じん麻疹について（皮膚科） ・アレルギー性鼻炎・花粉症について（耳鼻咽喉科） ・小児の喘息・アトピー性皮膚炎・食物アレルギーについて（小児科）

関西支部（支部長　東田有智）

（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
Ⅰ．研究助成事業 **自由課題研究助成**	
(1)「ウイルス感染症に関する研究」	井上雅美（大阪府立母子保健総合医療センター血液・腫瘍科） 研究期間：平成 25 年 10 月〜27 年 3 月
(2)「マイボーム腺関連炎症疾患の病態の解明と治療法に関わる研究」	木下　茂（京都府立医科大学視覚機能再生外科学） 研究機関：25 年 8 月〜27 年 3 月
Ⅱ．研究会事業	
(1) 第 12 回小児科医のための喘息治療フォーラム（共催） 日時：平成 25 年 6 月 1 日（土） 場所：大阪府（ブリーゼプラザ） 参加人数：96 名	座長：亀田　誠（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター） 一般演題 1：吉田之範（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科） 「日常管理における、呼吸機能測定の重要性」 一般演題 2：末廣　豊（大阪府済生会中津病院 小児科） 「eNO」 一般演題 3：清益功浩（大和高田市立病院 小児科） 「喘息管理の評価 JPAC とコントロール状態の比較」 特別講演：座長：井上壽茂（住友病院 小児科） 徳山研一（埼玉医科大学小児科 / アレルギーセンター） 「小児気管支喘息の治療目標と日常管理」
(2) 第 14 回南大阪呼吸器フォーラム（共催） 日時：平成 25 年 6 月 29 日（土） 場所：大阪府（ホテルアゴーラリージェンシー堺） 参加人数：45 名	ミニレクチャー「肺気腫と慢性気管支炎が COPD なんですか？」 座長：加藤元一（岸和田市民病院呼吸器アレルギー科） 特別講演：田口　修（三重大学医学系研究科 呼吸器内科） 「COPD 診療の問題点」
(3) 第 14 回小児・成人喘息フォーラム（共催） 日時：平成 25 年 7 月 13 日（土） 場所：大阪府（エコルテホール） 参加人数：20 名	座長：洪　真紀（大阪医科大学 小児科） 演題 1：藤田一彦（大阪医科大学 呼吸器内科） 「慢性乾性咳を主訴に受診した中年女性の一例〜モメタミン使用例〜」 演題 2：大田和美（絡和会病院 小児科） 「エアゾールからドライパウダー吸入ステロイド変更にて良好なコントロールを得た 6 歳男児例」 座長：関　庚燁（市立伊丹病院） 特別講演：高野　頌（同志社大学治療システム研究センター） 「吸入療法の基礎：気道局所への薬剤送達速度評価」
(4) 第 53 回気管支喘息勉強会（共催） 日時：平成 25 年 7 月 28 日（土） 場所：大阪府（ツイン 21MID　タワー 20 階会議室） 参加人数：52 名	司会：南部光彦（天理よろづ相談所病院 小児科） 亀田　誠（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター） 一般演題 1：井上徳浩（大阪南医療センター） 「アレルギーマーチから見た気管支喘息・病院勤務医の立場から」 一般演題 2：林　奈津子ほか（大阪府済生会中津病院 小児科） 「アレルギーマーチ予防を目指したアレルギー教室」 一般演題 3：川島佳代子（大手前病院 耳鼻咽喉科） 「耳鼻咽喉科医からみた気管支喘息」 特別講演：藤澤隆夫（国立病院機構 三重病院） 「アレルギーマーチから見た気管支喘息」

実　施　事　業	概　　要
(5) 日本喘息・COPD フォーラム近畿第 2 回大会（共催） 日時：平成 25 年 8 月 27 日（土） 場所：大阪府（リーガロイヤルホテル大阪） 参加人数：138 名	Opening：東田有智（近畿大学医学部） 小児喘息 Session： 座長：井上壽茂（住友病院 小児科） 座長：野々村和男（守山市民病院 小児科） 演題 1：井上壽茂（住友病院 小児科） 「小児気管支喘息入院実態調査 2012」 演題 2：亀崎佐織（かめさきこども・アレルギークリニック） 「開業医の立場から見た小児気管支喘息」 演題 3：吉田之範（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 小児科） 「難治性気管支喘息児での医療・教育・福祉の連携の取り組み」 成人喘息 Session： 座長：石原享介（神戸市立医療センター西市民病院） 座長：西村善博（神戸大学医学部附属病院 呼吸器内科） 演題 1：村木正人（近畿大学医学部奈良病院 呼吸器アレルギー内科） 「喘息ガイドライン 2012〜喘息と併存症〜」 演題 2：関　庚燁（市立伊丹病院） 「薬診連携のためのゼロネットノートの活用」 COPD Session： 座長：平田一人（大阪市立大学医学研究科 呼吸器内科学） 座長：木村　弘（奈良県立医科大学 内科学） 演題 1：金澤　博（大阪市立大学医学研究科 呼吸器内科学） 「COPD ガイドライン改訂のポイント」 演題 2：北　英夫（高槻赤十字病院 呼吸器科） 「高槻赤十字病院における COPD 病診連携の取り組み」 Closinng：三嶋理晃（京都大学大学院医学研究科 呼吸器内科学）
(6) 第 2 回関西鼻科臨床懇話会（共催） 日時：平成 25 年 9 月 7 日（土） 場所：大阪府（グランフロント大阪タワーB） 参加人数：75 名	座長：朝子幹也（関西医科大学 耳鼻咽喉科学） 基調講演：鴻　信義（東京慈恵医科大学 耳鼻咽喉科学） 「鼻副鼻腔疾患に対する内視鏡手術の最前線」 座長：友田幸一（関西医科大学 耳鼻咽喉科学） 特別講演：川内秀之（島根大学医学部 耳鼻咽喉科学） 「スギ花粉症の病態と治療－from the bench to clinic－」
(7) 第 21 回南大阪小児アレルギーカンファレンス（SOPAC）（共催） 日時：平成 25 年 10 月 10 日（木） 場所：大阪府（大阪南医療センター） 参加人数：19 名	司会：橋爪孝雄（国立病院機構大阪南医療センター） 演題 1：森本康夫（森本小児科医院） 「好酸球性胃腸炎の一例」 演題 2：土生川千珠（国立病院機構南医療センター 小児科） 「小児気管支喘息における治療目標に使用する呼吸音の検討」
(8) 第 2 回 北摂呼吸器疾患吸入フォーラム（共催） 日時：平成 25 年 10 月 12 日（土） 場所：大阪府（千里ライフサイエンス） 参加人数：22 名	座長：橋本重樹（市立池田病院 呼吸器内科） 一般講演：辻　文生（市立吹田市民病院 呼吸器科） 「吹田市における吸入病薬連携」 一般講演：北　英夫（高槻赤十字病院 呼吸器科） 「CAT を用いた COPD 病診連携の取り組み」 座長：長　澄人（大阪府済生会吹田病院） 特別講演：大林浩幸（東濃中央クリニック） 「吸入療法における患者指導の重要性とピットホール」

実　施　事　業	概　　要
(9) 第33回近畿アトピー性皮膚炎談話会（共催） 日時：平成25年10月26日（土） 場所：大阪府（住友クラブ） 参加人数：26名	座長：黒川一郎（明和病院 皮膚科） 教育演題：戸村道夫（京都大学医学研究科次世代免疫抑制を目指す創薬医学融合拠点） 「カエデマウスを用いた、皮膚－リンパ組織間の免疫細胞移動の可視化に基づいた皮膚免疫の理解」 座長：杉浦久嗣（杉浦皮ふ科医院） 特別講演：栗原和幸（神奈川県立こども医療センター） 「食物アレルギーの新しい概念－経口免疫寛容と経皮感作－」 特別講演：湯田厚司（ゆたクリニック） 「スギ花粉症の舌下免疫療法への期待と課題」
(10) 第9回 堺小児アレルギー研究会（共催） 日時：平成25年11月2日（土） 場所：大阪府（ホテルアゴーラリージェンシー堺） 参加人数：39名	座長：金崎光治（かなさきこどもクリニック） 講演1：田中謙好（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センターアレルギー内科・皮膚科・眼科看護師長） 「アドヒアランス向上をめざした患者指導について」 講演2：今北優子（浅香山病院 小児科） 「吸入療法の再指導が有効であった気管支喘息児の1症例」 座長：岡村隆行（市立堺病院 小児科） 特別講演：久保亮治（慶応義塾大学 皮膚科学） 「皮膚バリア障害からみたアトピー性疾患の病態と治療」
(11) 第7回豊能小児喘息講演会（共催） 日時：平成25年11月9日（土） 場所：大阪府（千里ライフサイエンス） 参加人数：32名	テーマ：小児気管支喘息管理ガイドライン「JPGL」を考える 座長：牧　一郎（市立池田病院） ：山上文良（山上小児科クリニック） 講演：金野　浩（箕面市立病院 小児科） 「JPCLのアンケート集計結果」 ワークショップ：「実臨床でのJPGLを考える」
Ⅲ. 講演会・講習会事業 (1) 第71回臨床アレルギー研究会（共催） 日時：平成25年7月6日（土） 場所：大阪府（大日本住友製薬本社ビル） 参加人数：60名	座長：平口雪子（大阪府済生会中津病院 小児科）） セッション1： 1）吉野翔子ほか（大阪府済生会中津病院 小児科） 「小学校教職員の食物アレルギーに対する意識調査～講習会の効果についての検討～」 2）岸田寛子ほか（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター皮膚科） 「呼吸器症状を主症状とし好酸球増多血症、皮疹を伴ったCastleman病の1例」 3）錦戸知喜ほか（大阪府立・呼吸器アレルギー医療センター小児科） 「気管支喘息発作入院例での検出ウイルスとその後の経過についての検討」 座長：金澤　博（大阪市立大学医学研究科 呼吸器内科学） セッション2： 4）大野剛史ほか（近畿大学医学部奈良病院 呼吸器アレルギー内科） 「マルトース含有輸液製剤によりアナフィラキシー様反応を呈した1例」 5）佐伯　翔ほか（近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科） 「喘息に対するブデソニド/ホルモテロール配合剤を用いた維持療法及び発作治療（SMART療法）の有用性」

実　施　事　業	概　　要
	6）金澤　博ほか（大阪市立大学医学研究科 呼吸器内科） 「喫煙喘息患者におけるステロイド抵抗性のメカニズムに関する考察」 座長：片岡葉子（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 皮膚科） 特別講演：金澤伸雄（和歌山県立医科大学 皮膚科） 「意外と身近な自己炎症疾患〜中條－西村症候群から汎発性膿疱性乾癬まで〜」
(2) 第72回臨床アレルギー研究会（共催） 日時：平成25年12月21日（土） 場所：大阪府（薬業年金会館） 参加人数：43名	セッション1： 座長：山田秀和（近畿大学医学部奈良病院 皮膚科） 1）木寺さやかほか（天理よろづ相談所病院 看護部 小児科） 「小児難治アトピー性皮膚炎患者児に対する介入により皮膚状態が改善した1例」 2）吉岡詠理子ほか（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 皮膚科） 「重症乳児アトピー性皮膚炎に対する早期治療介入による食物アレルギー成立の回避・臨界期の検討」 3）吉田之範ほか（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 小児科） 「1歳で鶏卵を除去している児の食物負荷試験の適応基準について」 4）竹村　豊ほか（国立病院機構大阪南医療センター 小児科） 「複数種の負荷試験を行ったナッツ類のアレルギーの5例」 5）下寺佐栄子（大阪府済生会中津病院 小児科、免疫アレルギーセンター） 「食物アレルギー教室は保護者が抱える不安の解消に貢献しうるか」 6）村本睦子（近畿大学医学部奈良病院 皮膚科 「ロドデノール含有化粧品使用後に生じた色素脱失症例について」 セッション2： 座長：久米裕昭（近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科） 7）住本真一（大阪赤十字病院 小児科） 「アナフィラキシーは10年間でどう変わったか？」 8）山本　傑（大阪警察病院 呼吸器内科） 「吸入方法再指導により症状コントロールが改善した難治性喘息の1例」 9）朝子幹也ほか（関西医科大学耳鼻咽喉科・日本医科大学耳鼻咽喉科） 「スギ花粉症舌下免疫療法の治療効果と血清ペリオスチンの変動に関する検討」 10）山藤啓史ほか（近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科） 「固定性気流障害を有する成人喘息患者における呼吸抵抗の検討」 11）永野達也ほか（神戸大学医学研究科呼吸器内科） 「アレルギー性気道炎症におけるホスホリパーゼ Cε の役割」 座長：亀田　誠（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 小児科） 特別講演：近藤直実（岐阜大学・平成医療短期大学） 「アレルギー専門医の将来〜総合アレルギー医を目指して〜」

実　施　事　業	概　　要
Ⅳ．啓発活動事業 **1．第 20 回アレルギー週間**	
(1) 市民公開講座 in 奈良 日時：平成 26 年 2 月 1 日（土） 場所：奈良県（奈良 100 年会館） 参加人数：91 名	市民公開講座・相談会（患者等一般市民向け） テーマ「アレルギーと上手につきあうには」 開催挨拶：東田有智（日本アレルギー協会関西支部支部長） 司会：山田秀和（近畿大学医学部奈良病院 皮膚科）） 講演 1：南部光彦（天理よろづ相談所病院 小児科） 「アトピー性皮膚炎との上手なつき合い方」 司会：村木正人(近畿大学医学部奈良病院 呼吸器・アレルギー内科) 講演 2：中川やよい（中川医院）） 「目のアレルギーと上手につきあうポイント」 Q & A コーナー
(2) 市民公開講座 in 大阪 日時：平成 26 年 2 月 8 日（土） 場所：大阪府（朝日生命ホール） 参加人数：82 名	テーマ「こうして対応！花粉症と・アトピー性皮膚炎・アナフィラキシー」 開催挨拶：東田有智（日本アレルギー協会関西支部支部長） 司会：田中敏郎（大阪大学医学系研究科抗体医薬臨床応用学） 第 1 部：朝子幹也（関西医科大学 耳鼻咽喉科） 「花粉症対策～あなたはどうしていますか？～」 第 2 部：片岡葉子(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 皮膚科) 「もう迷わないで！アトピー性皮膚炎～正しく知って正しく対応～」 第 3 部：住本真一（大阪赤十字病院 小児科） 「アナフィラキシーへの対応～恐れず、侮らず～」 Q & A コーナー
(3) 市民公開講座 日時：平成 26 年 2 月 9 日（日） 場所：和歌山県（和歌山県 JA ビル） 参加人数：54 名	テーマ「アトピーと花粉症」 司会：古川福実（和歌山県立医科大学 皮膚科学） 講演 1：山本有紀（和歌山県立医科大学 皮膚科学） 「自分で守れる乾燥肌～知っておこう皮膚の構造～」 講演 2：嶽　良博（だけクリニック耳鼻咽喉科アレルギー科） 「アレルギー性鼻炎・花粉症の治療」
(4) 市民公開講座 日時：平成 26 年 2 月 15 日（土） 場所：兵庫県（兵庫県民会館） 参加人数：86 名	テーマ「アレルギーとうまくつきあおう」 司会：石原享介（神戸市立医療センター西市民病院） １部：金子正博（神戸市立医療センター西市民病院 小児科） 「小児ぜんそくかもしれませんと言われたら－こどものぜんそくについて－」 ２部：木村彰宏（いたやどクリニック） 「食物アナフィラキシーが起きたときに－エピペンの使用も含めて－」 しつもん「Q & A」コーナー
(5) 第 10 回滋賀アレルギーフォーラム 日時：平成 26 年 2 月 16 日（日） 場所：滋賀県（滋賀県立県民交流センター） 参加人数：95 名	テーマ「アレルギー疾患に対する最新の治療」 司会：野々村和男（守山市民病院 小児科） 第 1 部：有方雅彦（滋賀医科大学　耳鼻咽喉科学） 「アレルギー性鼻炎への最新の治療－特異的免疫療法など－」 第 2 部：野々村和男（守山市民病院 小児科） 「食物アレルギーによるアナフィラキシーへの対応－滋賀県でのこれからの取り組み－」 第 3 部：長尾大志（滋賀医科大学 呼吸器循環器内科） 「咳の続く人の自己診断～喘息？喘息でない？～」 第 4 部：「しつもん（Q & A）の時間」

実　施　事　業	概　　要
2．医師向け	
(1) 南大阪アレルギー性鼻炎セミナー（共催） 日時：平成 26 年 1 月 25 日（土） 場所：大阪府（アゴーラリージェンシー堺） 参加人数：26 名	座長：中村昌彦（堺市医師会耳鼻咽喉科医会） 特別講演Ⅰ：岩永賢司（近畿大学医学部 呼吸器・アレルギー内科） 「内科側から見た喘息とアレルギー性鼻炎との関連性」 座長：蔦　佳明（堺市医師会耳鼻咽喉科医会） 特別講演Ⅱ：鴻　信義（東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎に対する外科的アプローチ」
(2) 第 54 回気管支喘息勉強会（共催） 日時：平成 26 年 1 月 25 日（土） 場所：大阪府（ツイン 21MID タワービル 20 階） 参加人数：56 名	テーマ「食物アレルギーと喘息」 司会：小野　厚（済生会泉尾病院 小児科） 村田卓士（むらた小児科） 講演 1：亀田　誠(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 小児科) 「食物アレルギーにおける呼吸器症状について」 講演 2：桶谷あゆか（熊取南小学校） 「学校における食物アレルギーと喘息」 講演 3：田野成美（大阪狭山食物アレルギーアトピーサークル） 「親の立場から」 特別講演：谷内昇一郎（関西医科大学附属滝井病院 小児科） 「喘息をよくすると食物アレルギーは治る」
(3) 第 10 回大阪アレルギーネットワーク（共催） 日時：平成 26 年 2 月 13 日（木） 場所：大阪府（天王寺都ホテル） 参加人数：44 名	座長：小西一夫（大阪市立大学医学研究科 耳鼻咽喉病態学） 演題 1：和田匡史（大阪市立医学研究科 呼吸器内科学） 「好酸球性副鼻腔炎とアレルギー性真菌生鼻副鼻腔炎の鑑別と治療」 演題 2：金澤　博（大阪市立大学医学研究科 呼吸器内科学） 「喘息治療薬のアドヒアランス向上への試み」 座長：若原良平（大阪市立大学医学研究科 発達小児学） 特別講演：長尾みづほ（国立病院機構三重病院 アレルギー疾患治療開発研究室） 「小児喘息における ICS/LABA 治療の位置付けと評価」
(4) 第 10 回京都臨床アレルギー研究会（共催） 日時：平成 26 年 2 月 18 日（火） 場所：京都府（芝欄会館） 参加人数：32 名	座長：八角高裕（京都大学医学研究科 発達小児学） 一般演題 1：椛島健治（京都大学医学研究科 皮膚科学） 「皮膚バリアのアトピー性皮膚炎発症における役割」 一般演題 2：柴田洋史（京都大学医学研究科 発達小児学） 「重度の胆汁うっ滞を呈したミルクアレルギー合併 21trisomy の 2 乳児例」 一般演題 3：金光禎寛（京都大学医学研究科 呼吸器内科学） 「ペリオスチンは吸入ステロイド治療下喘息患者の呼吸機能低下の進行に関与する」 座長：平家俊男（京都大学医学研究科 発達小児科学） 特別講演：峯岸克行（徳島大学疾患プロテオゲノム研究センター 病態プロテオゲノム分野） 「高 IgE 症候群の病因と病態の解明」
(5) 第 15 回京都アレルギークロストーク（共催） 日時：平成 26 年 2 月 20 日（木） 場所：京都府（メルパルク京都） 参加人数：92 名	座長：三嶋理晃（京都大学医学研究科 呼吸器内科学） 特別講演 1：中尾篤人（山形大学医学工学 免疫学講座） 「アレルギーと体内時計」 座長：宮地良樹（京都大学医学研究科 皮膚科学） 特別講演 2：熊ノ郷　淳（大阪大学医学系研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学） 「セマフォリンによる免疫制御－セマフォリンは病気の鍵分子－」

実　施　事　業	概　　要
(6) 第20回アレルギー週間学術講演会 (共催) 日時：平成26年2月27日（木） 場所：和歌山県（ガーデンホテルハナヨ） 参加人数：18名	総合司会：古川福実（和歌山県立医科大学 皮膚科学） 特別講演1：辻岡　馨(日本赤十字社 和歌山医療センター 皮膚科) 「キーワードで語るアトピー性皮膚炎」 特別講演2：榎本雅夫（NPO日本健康増進支援機構） 「プロバイオティクスによるアレルギーの発症予防」
(7) 第13回関西膠原病フォーラム（共催） 日時：平成26年3月8日（土） 場所：京都府（メルパルク京都） 参加人数：65名	座長：吉崎和幸（大阪大学工学研究科 免疫医科学）） 特別講演1：熊ノ郷　淳（大阪大学医学系研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学） 「セマフォリンによる免疫抑制」 座長：宗圓　聡（近畿大学奈良病院 整形・リウマチ科） 特別講演2：石井　優（大阪大学医学系研究科 感染免疫医学講座免疫細胞生物学教室） 「生態4Dイメージングによる免疫炎症・骨破壊の動態解析」 座長：三森経世（京都大学医学部 臨床免疫学） 特別講演3：田中敏郎(大阪大学医学系研究科 抗体医薬臨床応用学) 「IL-6阻害療法の新展開」
(8) 第22回南大阪小児アレルギーカンファレンスSOPAC（共催） 日時：平成26年3月13日（木） 場所：LICはびきの 参加人数：23名	司会：磯川貞之（磯川医院） 演題1：吉田之範（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科） 「難治性気管支喘息児での医療・教育・福祉の連携の取り組み」 演題2：加納友環（近畿大学医学部堺病院 小児科） 「当院で施行した経口食物負荷試験の傾向」 演題3：丹羽久生（にわ小児科） 「乳児期に受診したアトピー性皮膚炎患児の経過・予後について」
3．一般向け	
(1) 喘息児童の自然に触れ合う野外教室 (共催) 平成25年5月～平成26年2月 日帰り又は2泊3日の日程で年4回実施	主催：大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 小児科主任部長　土居　悟 第1回：平成25年6月2日 大阪市立信太山青少年野外 活動センター：参加児31名 第2回：平成25年8月23日～25日 大阪府立青少年海洋センター：参加児34名 第3回：平成25年11月17日 馬見丘陵公園：参加児36名 第4回：平成26年2月16日 大阪府立少年自然の家：参加児32名
(2) 奈良市学校保健会　夏季研修会（後援） 日時：平成25年8月5日（月） 場所：奈良県（奈良市役所　政庁） 参加人数：96名	会長挨拶 養護部部会発表（保健室経営班） 講演・実習：吉田之範（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 小児科） 「食物アレルギーの症状とその対応について～エピペンの打ち方実習～」
(3) 大阪市消費者センター講座 エルちゃんの“わん”デー講座（共催） 日時：平成26年2月26日（水） 場所：中央区民センター大会議室 参加人数：88名	講演：吉田之範（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 小児科） 「知って安心 食物アレルギー ～正しい知識で安全安心な生活を～」

実　施　事　業	概　　要
V．その他（会議等） 第3回関西支部幹事会 日時：平成25年6月18日（火） 場所：ホテルグランヴィア 出席者：9名	主たる議題 1）関西支部理事・評議員・幹事改選選挙に関して 2）関西支部ホームページ開設について 3）正会員拡大に対する支部としての実施計画の検討 4）市民公開講座等におけるプロモーション規約確認 5）特定資産取り崩し、承認

中国支部（支部長　宗田　良）　（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
I．研修会事業 **1．実地医家向け** (1) 第23回岡山アレルギーを考える会(後援) 日時：平成25年5月31日（金） 場所：ホテルグランヴィア岡山 4F フェニックス 参加人数：約20名	講演：後藤　穣（日本医科大学耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎診療のアップデート　薬物療法から舌下免疫療法まで」 栗原和幸（神奈川県立こども医療センターアレルギー科） 「食物アレルギーの新しい概念と対応法」
(2) 第9回中国・四国喘息研究フォーラム（後援） 日時：平成25年8月31日（土） 場所：ホテルグランヴィア岡山 4F フェニックス 参加人数：約50名	講演：望月博之（東海大学医学部小児科） 「臨床から考える小児喘息の最善の治療とは」 相良博典（昭和大学医学部呼吸器アレルギー内科） 「進化する喘息病態解明と治療戦略応用」
(3) 第25回中国・四国臨床アレルギー研究会（共催） 日時：平成25年9月1日（日） 場所：岡山国際交流センター2F 国際会議場 参加人数：約70名	一般演題：12題 特別話題：栗原和幸（神奈川県立こども医療センターアレルギー科） 「食物アレルギーの新しい考え方」
(4) 第7回岡山吸入療法研究会（共催） 日時：平成25年10月24日（木） 場所：ホテルグランヴィア岡山 3F クリスタル（イースト） 参加人数：約50名	シンポジウム： 小笠原加代（岡山県薬剤師会副会長） 谷本　安（国立病院機構南岡山医療センター） 尾長谷靖（川崎医科大学呼吸器内科） 「喘息・COPDの実態アンケート調査報告」 特別講演：興梠博次（熊本大学大学院呼吸器内科） 「喘息、咳嗽、COPDおよび類似疾患の外来診療のポイント」
(5) 第24回岡山アレルギーを考える会（後援） 日時：平成25年10月25日（金） 場所：岡山全日空ホテル　1F 曲水の間 参加人数：約20名	講演：廣瀬正裕（藤田保健衛生大学呼吸器・アレルギー内科） 「喘息の管理・治療～増悪・難治化させないためには～」 藤山幹子（愛媛大学大学院皮膚科） 「重症薬疹の臨床と免疫反応」
(6) 第5回鳥取県中部吸入療法研究会（後援） 日時：平成25年11月8日（金） 場所：鳥取県立倉吉未来中心 セミナールーム5 参加人数：約30名	特別講演：谷本　安（国立病院機構南岡山医療センター） 「長引く咳の治療戦略」

実　施　事　業	概　　要
2．薬剤師向け	
(1) 薬剤師向け研修会（共催） 日時：平成 25 年 9 月 1 日（日） 場所：岡山国際交流センター 2 階国際会議場 受講者数：約 40 名	第 1 回吸入療法のための連携推進研修会 司会：森　英樹（岡山赤十字病院薬剤部） 講師：斎藤勝剛（岡村一心堂病院）
(2) 薬剤師研修会（共催） 日時：平成 25 年 11 月 10 日（日） 場所：国立病院機構南岡山医療センター 中央病棟 1F 花明りホール 受講者数：約 40 名	第 2 回吸入療法のための連携推進研修会 司会：森　英樹（岡山赤十字病院薬剤部） 講師：谷本　安（国立病院機構南岡山医療センター）
(3) 薬剤師研修会（共催） 日時：平成 26 年 3 月 2 日（日） 場所：岡山国際交流センター 2 階国際会議場 受講者数：約 40 名	第 3 回吸入療法のための連携推進研修会 司会：監物英男（岡山赤十字病院薬剤部） 講師：谷本　安（国立病院機構南岡山医療センター）
3．一般向け 公開講座　岡山アレルギーシンポジウム 2013 サマーセミナー（共催） 日時：平成 25 年 7 月 27 日（土） 場所：国立病院機構南岡山医療センター 中央病棟 1F　花明りホール 参加人数：約 150 名	テーマ「こどもとおとなの食物アレルギー・アトピー性皮膚炎」 講演：藤原愉高（国立病院機構南岡山医療センター皮膚科） 「みんなで読もう！よくわかるアトピー性皮膚炎」 金谷誠久（国立病院機構南岡山医療センター小児科） 「こどもの食物アレルギー『今　聞くべきでしょ！』」 木村五郎（国立病院機構南岡山医療センターアレルギー科） 「知っておきたい大人の食物アレルギーあれこれ！」 大年典子（国立病院機構南岡山医療センター管理栄養師） 「食物アレルギー食事療法　食べれる食品は？」 個別相談：
II．啓発活動事業 **第 20 回アレルギー週間**	
(1) 島根県 日時：平成 26 年 2 月 8 日（土） 場所：平成記念病院会議室 参加人数：約 30 名	患者さんのためのスギ花粉症セミナー 講演：川内秀之（島根大学医学部耳鼻咽喉科） ①「2014 年のスギ花粉飛散について」 ②「今年から始まるスギ花粉アレルゲンを用いた舌下免疫療法のお話」 ③「アレルギー治療薬の上手な使い方」
(2) 広島県 日時：平成 26 年 2 月 23 日（日） 場所：リーガロイヤルホテル広島 3 階瀬戸の間 参加人数：約 150 名	アレルギー週間の集い 2014 in 広島 親とこどものためのアレルギー対策 講演：高路　修（こうろ皮ふ科） 「アトピー性皮膚炎　～再び外用剤を中心に～」 岡畠宏易（JA 広島総合病院小児科） 「食物アレルギーについて－小児期の食物アレルギーを中心に、皆様に知っておいていただきたいこと－」 細羽早苗（かとう小児科アレルギー科） 「小児アレルギーエデュケーターの役割について」 辻　哲郎（JA 尾道総合病院小児科） 「こどもの喘息～わかりやすい病院の薬や検査の話～」 春田吉則（広島大学病院呼吸器内科） 「予防できる！？　ぜんそく」

実　施　事　業	概　　要
(3) 岡山県 日時：平成 26 年 3 月 2 日（日） 場所：岡山国際交流センター 2 階国際会議場 参加人数：約 50 名	アレルギー週間の集い 2014 県民公開講座「岡山アレルギー疾患講演会」 「気管支喘息とアレルギー性鼻炎」治療の進歩 2014 講演：木村五郎（国立病院機構南岡山医療センター） 「気管支喘息吸入療法の最新情報」 児玉沙織（国立病院機構南岡山医療センター薬剤科） 「今日からできる吸入薬の実践」 岡野光博（岡山大学大学院耳鼻咽喉・頭頸部外科） 「舐めて治す花粉症：舌下免疫療法について」
(4) 山口県 日時：平成 26 年 3 月 23 日（日） 場所：美祢市立病院会議室 参加人数：約 80 名	アレルギー週間の集い 2014 in 美祢 「こどものアレルギーについて考えよう」 講演：長谷川真成（山口県立総合医療センター小児科） 「食物アレルギーについて正しく知ろう！」 長谷川俊史（山口大学大学院小児科） 「こどものぜんそくについて正しく知ろう！」

四国支部（支部長　西岡安彦）　　（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
Ⅰ．講演会・講習会事業	
(1) 第 33 回高知喘息・アレルギー研究会 日時：平成 25 年 5 月 30 日 場所：ラ・ヴィータ 参加人数：64 名	講演：森澤　豊（けら小児科・アレルギー科） 「学童・思春期喘息患者に対する個別患者教育の効果」 松井猛彦（地域医療振興協会村立東海病院） 「思春期喘息～最近の問題と治療のコツ～」
(2) 第 3 回徳島呼吸器疾患セミナー 日時：平成 25 年 8 月 11 日 場所：ホテルクレメント徳島 参加人数：27 名	講演：井上博雅（鹿児島大学大学院医師学総合研究科呼吸器内科） 「喘息と COPD の鑑別と治療」
(3) 第 35 回高知喘息アレルギー研究会 日時：平成 25 年 11 月 20 日 場所：ホテル日航旭ロイヤル 参加人数：40 名	講演：相良博典（昭和大学呼吸器アレルギー内科） 「知っておくべきアナフィラキシーの診断とその治療」
(4) 高知県シムビコート 4 周年講演会 日時：平成 25 年 11 月 25 日 場所：ザ・クラウンパレス新阪急高知 参加人数：36 名	講演：放生雅章（国立国際医療センター呼吸器内科） 「新たな喘息 SMART 療法は有用か？」（Pro） 久米裕昭（近畿大学医学部附属病院呼吸器・アレルギー内科） 「新たな喘息 SMART 療法は有用か？」（Con）
(5) 第 36 回高知喘息・アレルギー研究会 日時：平成 26 年 2 月 19 日 場所：ザ・クラウンパレス高知新阪急ホテル 参加人数：44 名	講演：吉田成二（JA 高知病院内科） 「ABPA 再燃を繰り返す 1 症例に対する当院での治療の工夫」 土橋邦生（群馬大学大学院保健学研究科） 「吸入連携と喘息の最近の話題」
(6) Asthma Symposium 2014 日時：平成 26 年 3 月 28 日 場所：徳島グランヴィリオホテル 参加人数：51 名	講演：浅野浩一郎（東海大学呼吸器内科学） 「これからの喘息治療の課題」

実　施　事　業	概　　要
II．啓発活動事業 **第 20 回アレルギー週間** (1) 徳島アレルギーフォーラム 2014 日時：平成 26 年 2 月 23 日 場所：徳島市民病院 参加人数：19 名	ミニレクチャー： 1）内科領域について 演者：河野徹也（かわの内科アレルギー科） 2）小児科領域について 演者：杉本真弓（徳島大学病院小児科） パネルディスカッション：
(2) 香川アレルギーフォーラム 2013 日時：平成 26 年 2 月 22 日 場所：香川県社会福祉総合センター 参加人数：19 名	「おとなの気管支ぜんそくについて学ぼう」 呼吸器内科医の立場から 演者：林　章人（高松赤十字病院呼吸器内科） 「薬剤師の立場から」 演者：木村友美（高松赤十字病院薬剤部） 「看護師の立場から」 西村あけみ（高松赤十字病院看護師） 総合討論：
(3) 高知アレルギーフォーラム 2014 日時：平成 26 年 2 月 23 日 場所：国立病院機構高知病院 参加人数：26 名	「花粉症」について 演者：土井　彰（高知医療センター耳鼻咽喉科） 「ぜんそくについて」 大石　拓（高知大学医学部小児思春期医学） 「アトピー性皮膚炎と食物アレルギーの最新情報について」 演者：小倉英郎（国立高知病院小児科） 個別医療相談：
(4) アレルギーの集い in 松山 日時：平成 26 年 2 月 11 日 場所：いよてつ高島屋 参加人数：38 名	1）喘息との付き合い方 演者：片山　均（愛媛大学医学部付属病院） 2）花粉シーズンを乗り切ろう 演者：高橋宏尚（愛媛大学医学部付属病院） 3）アトピーなんか怖くない 演者：小谷信行（松山赤十字病院副院長） 質問コーナー： スパイロメータ、NO 測定の実演

九州支部（支部長　西間三馨）　　（敬称略）

実　施　事　業	概　　要
I．研究助成事業 **1．空中花粉調査研究**	1）福岡市 2 ヶ所の耳鼻科医院において、問診表による花粉症発症状況調査。2 ヶ所の耳鼻科において、スギ花粉症患者受診数と花粉飛散量との経年関係検討 2）九州各県の大学耳鼻科における九州の空中花粉調査(26年目) 3）花粉情報 福岡県、九州各県花粉情報広報活動（福岡県医師会、九州各県医師会と日本気象協会福岡本部との共同活動） 新聞、ラジオ、テレビ 4）日本列島の空中花粉分布調査 全国 15 ヶ所で花粉を採取し、福岡病院で算定し、花粉地図、カレンダー作製

実　施　事　業	概　　要
2．学術交流研究助成	1）第46回日本小児呼吸器学会（平成25年11月22日～23日） 会場：アパンセ（佐賀市天神3丁目2-11） 会長：市丸智浩（佐賀県立病院好生館小児科部長） 2）第45回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術総会 会場：福岡ソフトリサーチパーク（SRP）センタービル2階 福岡市早良区道道浜2-1-22） 会長：岸川禮子（国立病院機構福岡病院アレルギー科医長） 開催：平成26年6月28日（土）～29日（日）（継続中）
Ⅱ．啓発活動事業 **1．第20回アレルギー週間（医師向け）** (1) 福岡県（共催） 日時：平成26年2月15日（土） 場所：天神ビル11階10号会議室 参加人数：62名	第一部：最近の話題、トピックスそのⅠ 座長：西間三馨（国立病院機構福岡病院名誉院長、福岡女学院看護大学学長） 講師：井上博雅（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科呼吸器内科学教授） 「呼吸器内科領域のアレルギー疾患における最近の話題」 古江増隆（九州大学大学院医学研究院皮膚科学分野教授） 「皮膚科のアレルギー疾患における最近の話題」 第二部：最近の話題、トピックスそのⅡ 座長：西間三馨（国立病院機構福岡病院名誉院長、福岡女学院看護大学学長） 講師：黒野祐一（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教授） 「耳鼻科のアレルギー疾患における最近の話題 －アレルギー性鼻炎における抗炎症療法－」 濱崎雄平（佐賀大学医学部小児科学教授） 「小児科のアレルギー疾患における最近の話題－ガイドラインに準拠した小児の食物アレルギー診断と治療－」
(2) 熊本県（共催） 日時：平成26年1月15日（水） 場所：ホテル日航熊本5階「阿蘇」 参加人数：107名	座長：尹　浩信（熊本大学生命科学研究部皮膚病態治療再建学教授） 講師：藤田英樹（東京大学大学院医学研究科皮膚科学講師） 「アトピー性皮膚炎の最新の話題」 座長：湯本英二（熊本大学生命科学研究部耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授） 講師：千葉伸太郎（太田総合病院記念研究所附属診療所 太田睡眠科学センター所長） 「アレルギー性鼻炎と睡眠障害」 座長：興梠博次（熊本大学生命科学研究部呼吸器内科学教授） 講師：金子　猛（横浜市立大学附属市民総合医療センター 呼吸器病センター教授） 「One airway, one disease としての気管支喘息」

実　施　事　業	概　　要
(3) 大分県（共催） 日時：平成 25 年 2 月 1 日（土） 場所：大分県消費生活・男女共同参画プラザアイネス 参加人数：67 名	座長：藤原作平（大分大学医学部皮膚科学講座教授） 講師：高井敏朗（順天堂大学大学院医学研究科アトピー疾患研究センター准教授） 「アレルゲンが引き起こすバリア破壊と自然免疫応答」 座長：鈴木正志（大分大学医学部耳鼻咽喉科学講座教授） 講師：大久保公裕（日本医科大学大学院医学研究科頭頸部・感覚器科学教授）） 「花粉症治療 update」 座長：宮崎英士（大分大学医学部地域医療学センター教授） 講師：百溪英一（東京医科歯科大学人体病理学分野　非常勤講師、東都医療大学ヒューマンケア学部教授） 「食品中の抗酸菌アジュバント物質の免疫への影響－クローン病モデルマウスから示唆されること－」
(4) 宮崎県（共催） 日時：平成 25 年 2 月 6 日（木） 場所：MRT micc 3 階「エメラルドホール」 参加人数：57 名	座長：瀬戸山 充（宮崎大学医学部感覚運動医学講座皮膚科学分野教授） 講師：池田志斈（順天堂大学医学部附属順天堂病院皮膚科教授） 「アトピー性皮膚炎におけるカユミの制御」
(5) 鹿児島県（共催） 日時：平成 25 年 2 月 14 日（金） 場所：城山観光ホテル 2 階「鳳凰の間」 参加人数：68 名	座長：井上博雅（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科呼吸器内科学教授） 講師：立元千帆（あおぞら小児科　院長） 「即時型食物アレルギーと消化管アレルギー」 講師：宮下圭一（鹿児島大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科助教） 「アレルギー性鼻炎の治療戦略－薬物療法から免疫療法まで－」 講師：町田健太朗（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科呼吸器内科学特任助教） 「喘息管理と呼気一酸化窒素（FeNO）測定」 座長：金蔵拓郎(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学教授) 講師：椛島健治（京都大学大学院医学研究科皮膚科学准教授） 「アトピー性皮膚炎の最近の話題と考え方」
2．その他医師向け	
(1) 第 13 回長崎 Asthma 研究会（共催） 日時：平成 25 年 7 月 12 日（金） 場所：ホテルニュー長崎 3 階　鳳凰閣 参加人数：47 名	座長：松瀬厚人（長崎大学病院第二内科准教授） 講師：福島千鶴（長崎大学病院臨床研究センター准教授） 「ロイコトリエンよもやま話」 座長：河野　茂（長崎大学病院病院長） 講師：横山彰仁（高知大学医学部血液・呼吸器内科学教授） 「喘息診療の最前線」
(2) 第 6 回 KASCOM 総会（共催） 日時：平成 25 年 8 月 17 日（土） 場所：ホテルニューオータニ博多 3 階「芙蓉の間」 参加人数：181 名	座長：川山智隆（久留米大学内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科学部門准教授） 講師：矢寺和博（産業医科大学医学部呼吸器内科学准教授） 「KASCOM 共同研究の中間解析について」 座長：岩永知秋（国立病院機構福岡病院　病院長） 講師：松瀬厚人（長崎大学医学部第二内科准教授） 「咳嗽診療最前線」 座長：興梠博次（熊本大学呼吸器内科教授） 講師：浅野浩一郎（東海大学医学部内科学系呼吸器内科教授） 「これからの喘息治療～残された課題～」

実　施　事　業	概　　要
3．一般向け	
(1) 福岡市開催（主催） 日時：平成 26 年 2 月 16 日（日） 場所：天神ビル 11 階 10 号会議室 参加人数：約 100 名	第 20 回アレルギー週間記念講演会 －アレルギーのポイント・日常生活をより快適に－ 司会：西間三馨（日本アレルギー協会九州支部長） 講師：岸川禮子（国立病院機構福岡病院アレルギー科医長） 「花粉症と黄砂」 小田嶋 博（国立病院機構福岡病院副院長） 「喘息と大気汚染」 内尾英一（福岡大学医学部眼科教授） 「アレルギー性結膜炎の原因と治療」 中原剛士（九州大学大学院医学研究院寄付講座体表感知学・皮膚科准教授） 「アトピー性皮膚炎とスキンケア」 柴田瑠美子（国立病院機構福岡病院　非常勤医師、中村学園大学客員教授） 「食物アレルギーとアナフィラキシー」 質問・実習コーナー： 泉田純子（国立病院機構福岡病院小児アレルギーエデュケーター） 「アトピー性皮膚炎のスキンケアコーナー」 金子恵美（国立病院機構福岡病院小児アレルギーエデュケーター、小児看護専門看護師） 「喘息の吸入方法と質問コーナー」
(2) 鹿児島市開催（共催） 日時：平成 26 年 3 月 1 日（土） 場所：キャンセ 7 階よかセンター 第 1 会議室 参加人数：35 名	第 7 回耳の日ならびにアレルギー週間公開講座 司会：宮之原郁代（鹿児島大学病院耳鼻咽喉科） 講師：宮之原郁代（鹿児島大学病院耳鼻咽喉科） 「先天性難聴の早期発見と治療の現況」 川畠雅樹（鹿児島大学病院耳鼻咽喉科） 「超高齢社会におけるよりよい聞こえのために－上手な補聴器の選び方－」 宮下圭一（鹿児島大学病院耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎－上手なセルフケアから最新情報まで－」
(3) 喘息市民公開講座（共催） 日時：平成 25 年 8 月 4 日（日） 場所：大分オアシスタワーホテル 5 階孔雀の間 参加人数：115 名	講師：駒瀬裕子(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院副院長) 「賢い患者になるために～喘息治療は自己管理から～」
(4) 第 9 回福岡病院 アレルギー・喘息教室 日時：平成 25 年 10 月 19 日（土） 場所：国立病院機構福岡病院研修・情報センター 1 階 CR4 参加人数：42 名	座長：下田照文（国立病院機構福岡病院臨床研究部長） 講師：金子靖子（国立病院機構福岡病院呼吸器内科） 「喘息の上手な日常管理」 杉山晃子（国立病院機構福岡病院皮膚科） 「スキンケアー洗顔・保湿・日焼け止めー」 宮崎淑子（国立病院機構福岡病院栄養科） 「食物アレルギーの食事の工夫」
(5) アレルギー談話室	1799 回（平成 25 年 3 月 30 日放送）